「失敗は成功のもと」「失敗は成功の母」アマゾンCEOジェフ・ベゾス氏とトーマス・エジソン氏が語る成功の秘訣

「失敗は成功の母」と言う格言は発明家トーマス・エジソンのではなくて、実際には中国起源の格言らしいです(A Chinese saying: "Failure is the mother of success")。それはさておき、エジソンが電球を発明するのに、１０００回の失敗をしたと言うのは有名なお話しですが、成功に辿り着くためのトライアル＆エラー（挑戦し続ける）と言う考え方を非常に大切にしているのがアマゾンCEOのジェフ・ベゾスです。

アマゾンオークション、ファイアフォン、アマゾンデスティネーションズと言うサービスをご存知でしょうか？

どれもこれも、何十億と投資をして失敗したアマゾンのビジネスです(How Amazon CEO Jeff Bezos has inspired people to change the way they think about failure

)。

ジェフ・ベゾスはとあるインタビューで言いました「どんな会社も何かを発明したい、イノベーションを起こせるなら起こしたいもの。そして、そのような成功を手にするためには多くの事に挑戦する事が必要になり、多くの挑戦には多くの失敗が付き物。しかし、人は大人になるにつれ、失敗をカッコ悪いと思うようになり、挑戦出来ずにいる」(Jeff Bezos shares his management style and philosophy)

行動経済学で言う損失回避。人は何かを得る事よりも、失う事を避けたがる。挑戦し、失敗すれば、お金や時間、名誉や地位を失いかねないなら、現状維持を目指すようになりがちとなわけです。

そして、日本は特に、損失回避の傾向が強い国であり（Japan`s Fear of Risk Is Getting Dangerous）、一回の失敗が地の果てまでその人を追うような、そんな文化ですので(Risk vs Volatility)、欧米と比べると起業家やイノベーションが少ない要因の一つなのかもしれません。

間違ってはいけないのが、挑戦する事＝博打と言う意味では無いと言う事です。エジソンもジェフ・ベゾスも全てを賭けた大博打の挑戦はしていません。失敗する確率の方が成功する確率よりも高いが、成功した時の見返りが大きく失敗しても失敗の代償が小さい、そんな挑戦を数多く行っているのです（The Babe Ruth Effect in Venture Capital）。

心理学者のダニエル・カーネマン曰く、人は成功したいと言う想いよりも失敗を回避したいと言う想いの方が１．５～２．５倍強いらしいです。そんな失敗と言うネガティブな考え方を抑え込むためには、それをも超えるポジティブな考え方（ストア主義的な）をすると良いそうで(How to Overcome Loss Aversion and Develop the Will to Win)。

電球を開発したエジソン氏はレポーターに聞かれました「１０００回も失敗するのは、どんな気分でしたか？」「私は１０００回の失敗はしていない。電球の開発には１０００回の手順があっただけさ」(But They Did Not Give Up)。

これ位、失敗をポジティブに考える、そんな心意気を持ちたいものですね。

<http://www.bloomberg.com/news/articles/2012-12-06/japans-fear-of-risk-is-getting-dangerous>

<https://www.google.co.jp/webhp?sourceid=chrome-instant&ion=1&espv=2&ie=UTF-8#q=seeking%20wisdom%20risk>

<https://www.linkedin.com/pulse/20141119020416-92785839-a-chinese-saying-failure-is-the-mother-of-success>

<http://www.businessinsider.com/how-amazon-ceo-jeff-bezos-thinks-about-failure-2016-5>

<https://www.youtube.com/watch?v=F7JMMy-yHSU>

<http://cdixon.org/2015/06/07/the-babe-ruth-effect-in-venture-capital/>

<http://www.startgainingmomentum.com/overcome-fear-failure-develop-will-win/>

https://www.uky.edu/~eushe2/Pajares/OnFailingG.html